

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	開会挨拶
Author(s)	小林, 信一
Citation	ぶらくしす , 23 : 1 - 1
Issue Date	2022-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00052226
Right	
Relation	



開会挨拶

開会のご挨拶を申し上げます。

広島大学とミュンスター大学は、2017年2月に大学間交流協定を締結し、交流を深めてきました。ミュンスターは、ドイツ30年戦争の後に締結されたウェストファリア講和条約が締結された地で、広島と同じく国際平和都市として知られています。もっとも、ウェストファリア条約は17世紀半ばのことであり、広島の大先輩です。

本日と明日にわたり開催する、本国際ワークショップは、当初、原爆投下75年目に当たる2020年に「ピース2020」という共同プロジェクトの枠内で実施する予定でした。しかし、新型コロナウイルスの影響のため延期となり、このたび、日独交流160周年を記念し、装いを新たに人間社会科学研究科設立記念セミナーの一環として、オンライン形式で開催するに至りました。

日独友好を記念する行事ではありますが、幅広く参加者を募るため、ドイツ語－日本語ではなく、英語－日本語での開催を承諾してくださったことに対し、ミュンスター大学関係者にこの場を借りて感謝いたします。また、開催準備を進めていただいた両大学の関係者に感謝申し上げます。

本ワークショップは、本日、明日の二日間にわたり、〈記憶〉を共通テーマとしております。このあとの、大学の社会貢献についての両大学長の格調高いステートメントに始まり、哲学・倫理学、歴史学・歴史教育、社会学領域からそれぞれ登壇し、両大学が背負ってきた戦争と平和、そして尊厳に関わる〈記憶〉の研究と教育の積み重ねについて対話します。

このワークショップが、参加者のみなさま、両大学はもとより、日独両国の教育研究の一層の交流の契機となることを期待します。

2021年12月6日

広島大学大学院人間社会科学研究科長 小林信一